

凡 例						
分類	地形区分			対象土層	飽和透水係数 k (cm/sec)	記号
浸透対策に適した地域	台地	下末吉面		□ - ム	5.0×10^{-3}	
		武蔵野面	県央荒川流域	□ - ム	3.0×10^{-3}	
			県東中川・綾瀬川域	□ - ム	4.0×10^{-3}	
		立川面	県南新河岸川域	□ - ム	3.0×10^{-3}	
			県央、県北域	□ - ム	1.5×10^{-3}	
			県西荒川流域	礫混り土	3.0×10^{-4}	
	扇状地	(地下水が深ければ適地)		礫質土	2.0×10^{-3}	
要調査地域	丘陵地			—	現地透水試験で確認	
	人工改変地			—	現地透水試験で確認	
	沖積低地	(自然堤防)		—	現地透水試験で確認	
浸透対策に適さない地域	沖積低地	(氾濫平野・後背低地)		—	—	
	山地	中生代、古生代	県西荒川、入間川域	—	—	
総合治水対策流域				—	—	

注) 浸透の適否は沖積低地(氾濫平野、後背湿地)、山地を除く自然地盤を対象としたものである。
 自然堤防を除く沖積低地は地下水は1~3m未満と浅く、地下水変動も1~2m予想されるため、原則として不適地扱いとした。
 山地は勾配が急なので浸透施設設置には適さないので不適地扱いとした。
 地形区分は、「埼玉県表層地質図」(発行 埼玉県県政情報センター)による。